

保谷小教育目標
すすんで学ぶ子
助け合う子
元気な子



NO. 4 5 3 ・ 1 2 月号 西東京市立保谷小学校

令和元年 1 1 月 2 9 日

保谷小ホームページ <http://www.nishitokyo.ed.jp/e-houya/>

保小だより

学芸会ありがとうございました

副校長 飯塚 庫健

本校でも 1 2 月は 2 学期のまとめの時期ですが、一般的には 1 年間の締めくくりの月です。「師走」といわれるこの月は、どこもかしこも何となく忙しく、誰もが忙しい毎日を送っていることと思います。

さて、1 1 月 1 5 日、1 6 日開催しました学芸会には、多くの保護者や地域の方々にご来場いただきました。

そして、各学年の劇を温かい眼差しと満面の笑顔でご覧になっている姿をたくさん拝見いたしました。子供たちの劇だけでなく、そうした周囲の温かい気持ちに私は心を打たれました。

今回の学芸会テーマは「みんなが主役！協力してみんなで一つの学芸会」です。

4 月から子供たちに「自分から進んで考え、行動する」「助け合い、協力し合う」ことを伝えてきました。

この学芸会でも自主的、協働的に取り組み、今自分たちがもてる力をすべて出し切り練習、本番へとつなげていきました。

特に高学年はさすがだなと感心しました。それは、照明や大道具・小道具作りも子供が協力して自分たちで作り上げたことです。小学校一年生から一步一步着実に成長してきた力を実感しました。

一日目の児童鑑賞日を終えた後、子供たちから「緊張したけどやり遂げた！」「練習で失敗したところも本番では上手くで

きた！」など、一人一人が充実感を体全体で表しながら楽しそうに話してくれました。

もちろん、上手いかわずいかに悔しい気持ちを話してくれた子供もいました。ただ、そんな時に周囲の仲間の励ましや悔しい気持ちをぐっと堪えている姿から保谷小学校の子供たちの成長を感じた 2 日間でした。

その子供たちの姿を通して、改めて結果を追求することも大事なことはあるけれど、そこに至るまでの苦労や努力した尊さを忘れてはいけません。また、そこにかけるがえのない価値があるということを教わりました。

副校長となって初めての学芸会は、思いがけずも子供たちから、目標に向かう過程の尊さ・価値について気付くことができた心に残るものとなりました。

校内研究の取組について 5年生

1学期に5年生を対象に国語に関するアンケートを行ったところ、文を書くことが好きかどうかの問いには、7割近くの児童が肯定的な回答をしていました。文を書くことが「好き」と回答した児童は、その理由として「文を書くことが好きだから」「自分の思いが伝わるから」「友達と読み合うことが楽しいから」などの点を挙げています。また、「いいえ」と回答した児童の多くは、「何を書けばよいか迷うから」といった理由を挙げていました。本学年の児童は、書き始めの段階で苦手意識をもっている児童が多いことが分かりました。

そのため、5年生（高学年）では、児童が文章を書くにあたり、目的意識・相手意識が明確になるよう、「誰に」「何を」「どのように」書くのか、全体で確認してから学習を進めました。5年生は、これまでの学習において、同学年の友達に向けて「委員会活動の紹介文」、校長先生に向けて「保谷小学校をよりよくするための提案文」を書きました。そこで、更なるステップとして、「市長さんに向けて西東京市をより良くするための意見文を書こう」という目標を設定することとしました。

また、西東京市の統計資料から、火災発生件数やごみの収集量などに関するグラフを選び、自分の考えの根拠としました。自分の考えをグラフと関連させながら書くことにより、説得力がある意見文になると考えました。

11月の研究授業では、以下のように手立てを考えて学習を進めていきました。

工夫① 自分の考えに反映させるためのワークシートの活用

児童が選んだグラフや表が何を表しているのか、また何が読み取れるのか、注目する言葉や数値は何かなど、細分化して書き込むワークシートを活用しました。引用する資料から何を読み取ればよいか、解釈・吟味の手助けになると考えました。

工夫② グループで交流する。

個人で読み取ったグラフの情報や意見文について、友達とアドバイスや質問をし合う交流の場を設定しました。自分とは異なる視点からアドバイスや質問をもらうことにより、より思考を広げられると考えました。

高学年となり、より広い視野で物事を考える力が求められていきます。「西東京市をよりよくするためには・・・」と、様々な人の立場に立って考える姿が、とても頼もしく見えました。

情報教育について

新学習指導要領が実施される来年度が近づき、とりわけ、「プログラミング教育」という言葉が新聞やテレビのニュースに取り上げられることも多くなってきました。プログラミング教育という言葉に「何をするんだろう。」「難しそう。」と不安に思うご家庭もあるかもしれません。

プログラミング教育とは、パソコンでプログラムを書くことが目的ではありません。子供たちにはまず、私たちが普段コンピュータの恩恵を受けて生活していることや、プログラミングは人間が意図した処理をコンピュータに行わせるためのものであることなどを理解出来るように、学年に応じた学習を進めていきます。

また、新学習指導要領では、「プログラミング教育」だけではなく「情報活用能力の育成」、「情報モラル教育の充実」も掲げられており、保谷小学校でも平成32年度の実施に向けて取り組みを始めています。本校には、全教室に実物投影機、デスクトップパソコンおよび大型モニターが設置されており、パソコンルームにはタブレットパソコンが40台導入されています。

これらを活用した具体的な取り組みとして、低学年はタブレットパソコンの基本的な操作を確かめながら写真を撮影したり、スタンプを押したものを印刷したり、高学年なら「よりよいフォームで跳ぶ」という課題解決のために動画を撮り自分のフォームを振り返る、プレゼンテーションソフトを使って発表資料を作成するなど、発達段階にあった学習を進めています。

また、パソコンを使わない場面でも学習の中で、「プログラミング的思考」を育てる指導を進めていきます。具体的には、物事を細分化して捉えたり、順序や繰り返しの決まりを見つけることで課題を解決する考え方です。例えば、1年生の生活科「じぶんでできるよ」では、「せんたくものたたみ」という課題に対して、「平らに置く」「服の端と端を重ねる」「教科書の大きさにたたむ」といった小さなステップに分けて考えることで、「せんたくものをたたむ」という課題を解決することが出来ます。

プログラミング教育は、生活科や総合的な学習の中にとどまらず、どの教科にも関わる教育です。様々な学習の中で情報を活用したり、モラルを考えたりする指導を実践していきたいと思います。

業間体育の取組について

保谷小学校は、子供たちの体力向上を図るため、火曜日と金曜日の中休みに業間体育という時間を設けています。

1学期の6・7月は、全員外遊びの日を設け、担任も一緒に外遊びを楽しみました。2学期、9・10月は長縄に取り組みました。第1回目の業間体育で5分間に何回跳べるか計測して学級の目標回数を設定し、長縄大会に向けて練習に励みました。業間体育以外の時間もクラスで練習する姿が見られ、意欲的に練習に励んでいました。長縄大会当日は、目標回数を上回った学級から喜びの声が上がり、子供たちは達成感を味わっていました。

12月からは、短縄の業間体育が始まります。今年度は、なわとびカード（全校共通）を一新して取り組んでいきます。ABC3種類のカードがあり、 $A \rightarrow B \rightarrow C$ とレベルが上がっていきます。カードには7~8つの技があり、跳べた回数によってレベルが上がります。最高レベルの6までいったら☆ゲットです。1枚のカードの中で☆を12個ゲットできたら、次のカードに挑戦することが出来ます。子供たち一人一人が目標をもって取り組むことができるように指導していきたいと思います。

これからますます寒さが厳しくなります。ご家庭で、お子さんと一緒に縄跳びをして体を温めてみてはいかがでしょうか。

行事予定

1 2 月 行事予定表					
日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	日	ウインターコンサート タグラグビー交流会予備日	16	月	全校朝会 6時間授業 (3～6)
2	月	全校朝会 委員会活動 安全指導	17	火	お米の学校(5) 5・6時間目
3	火	保護者会(1・2) ※2年学年活動	18	水	えがお終業式 6時間授業 (4～6) 集会 ボッチャ体験授業(全学年)
4	水	ALT 集会	19	木	
5	木	歯科指導(3) 保護者会(3・4) ※3年学年活動	20	金	6時間授業 (3～6) 対話による美術鑑賞教室(4)1～4時間目
6	金	4時間授業(1-1を除く)	21	土	
7	土	学校公開 ～保小まつり～	22	日	
8	日		23	月	全校朝会 6時間授業 (4～6) 訪問コンサート(1・2) 3・4時間目
9	月	全校朝会 クラブ活動	24	火	
10	火		25	水	終業式 給食(終) 4時間授業
11	水	4時間授業 (3-2・3-3を除く) ALT	26	木	冬季休業日開始
12	木		27	金	
13	金	6時間授業 (3～6)	28	土	
14	土		29	日	
15	日		30	月	
※12月は予告なしの避難訓練があります。			31	火	

学芸会の様子 (11月15日・16日)

たくさんの方にご来校いただきありがとうございました。

3年生

「ほんとうの宝ものは」

1年生

「かいぞくたちとたからじま」

5年生

「1タと不思議な仲間たち」

4年生

「冒険者たち」

2年生

「わらって王子さま！」

6年生

「人間になりたがった猫」

※個人情報保護のため、紙面とは一部内容が異なります。
ご了承ください。